

白旗神社

白旗神社は、若宮のすぐ東、柳原神池の隣にあります。鎌倉幕府と鶴岡八幡宮の両方の生みの親である源頼朝（1147-1199）と、その息子で鎌倉幕府 3 代将軍の実朝（1192-1219）が、この社に祀られています。2 人は死後神格化され、鶴岡八幡宮の境内で祀られましたが、当初は別々の社に祀られていました。これらの社が 1888 年に合祀され、現在の場所に白旗神社が創建されました。白旗という名前は、源氏が戦で用いた旗にちなんだもので、頼朝の神号である白旗大明神の語源になっています。神社には黒漆が塗られ、5 枚の笹の葉と 3 輪のリンドウの花からなる源氏の家紋が装飾的に配されています。人々は、天下を勝ち取った武士であり、名高く高貴な人であった頼朝に対して、必勝や学業成就を願って祈ります。また、実朝は芸術や文学の才能が有名です。